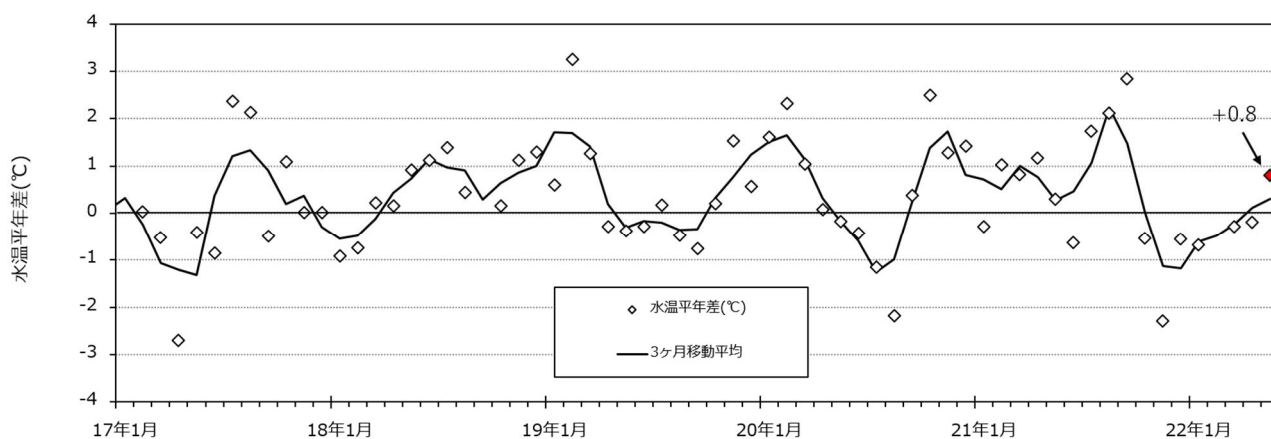


【水温の変動】

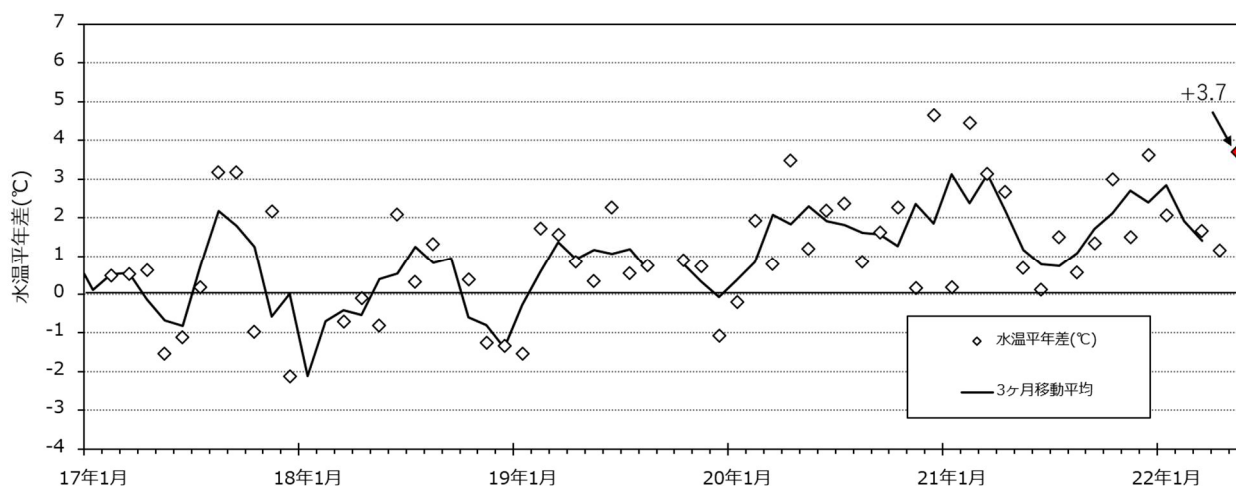
5月18、19日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。

湾口部では平年差+0.8°Cでやや高めとなっています。沖合域は平年差+3.7°Cで極めて高めでした。5月18日の人工衛星画像によると、黒潮は、潮岬沖の北緯30度付近まで南下し、遠州灘沖の北緯34度付近までS字状に北上した後、房総半島沖へ流れています。現在の流路は、流軸が御前崎沖の北緯33度以北を通過するAs型流路となっています。現在、黒潮が熊野灘に接岸しているため、沖合では高温傾向となっています。

湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、表層で 18.1~23.9°C、水深 100m で 14.5~19.8°C、水深 200m で 12.0~16.3°C となっていました。水温の鉛直断面図をみると、各水深で等温線の傾きが大きく、東向き強い流れがある模様です。クロロフィル a 濃度は、伊勢湾湾口部 (P17~A1) の水深 10~20m 付近で高くなっています。

水温の水平分布図と水温、塩分、密度、クロロフィル a 濃度の鉛直断面図

